# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日


上場会社名　　岩塚製菓株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2221　　ＵＲＬ　https://www.iwatsukaseika.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）槇　大介
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理本部長　　（氏名）竹部　雅伸　　ＴＥＬ　0258-92-4111

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：　無

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 14,889 | 9.6 | △263 | － | 1,112 | △47.4 | 770 | △48.6 |
| 2026年３月期中間期 | 13,582 | 16.9 | 156 | △46.2 | 2,116 | △37.0 | 1,498 | △36.8 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△14,705百万円（－%）　2026年３月期中間期　4,686百万円（△17.9%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 75.46 | － |
| 2026年３月期中間期 | 145.37 | － |

（注）当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、１株当たり中間純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 69,665 | 54,064 | 77.6 | 5,397.84 |
| 2026年３月期 | 93,055 | 69,852 | 75.1 | 6,809.07 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　54,064百万円　2026年３月期　69,852百万円

（注）当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、１株当たり純資産額の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期末発行済株式総数の計算において控除する自己株式に含めております。

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 0.00 | － | 32.00 | 32.00 |
| 2027年３月期 | － | 0.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | － | 32.00 | 32.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,600 | 6.1 | 300 | △65.4 | 1,700 | △41.0 | 1,150 | △43.4 | 113.09 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 11,990,000株 | 2026年３月期 | 11,990,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 1,974,013株 | 2026年３月期 | 1,731,313株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 10,205,573株 | 2026年３月期中間期 | 10,309,098株 |

※ 第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7

## １．経営成績等の概況

### （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移するなか、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に底堅さを保っております。一方で、緊迫する中東情勢の長期化を背景としたエネルギーコストや原材料価格の高止まり、人件費、物流費の増加に加え、人手不足の深刻化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

米菓業界におきましては、市場全体では価格改定の浸透により金額ベースで前年を上回る水準を維持している一方で、物価上昇による家計負担の増加から数量では伸び悩み傾向にあります。また、原材料価格の高止まりに加えエネルギー価格など各種コストが上昇しており、事業環境は引き続き厳しい状況が続いております。このような状況のなか、各社においては、価格改定効果を確保するとともに、販売体制強化やコスト削減等を通じた収益力の強化が改めて喫緊の課題となっております。

このような経営環境にあって、当社グループは、中期経営計画「米（マイ）ミライ～私たちはお米の未来を創ります～」の２年目にあたり、「一歩先の取組みを確かな力に変えてゆこう！」をスローガンに掲げ、一歩先を見据えた改善や挑戦を積み重ね、それを確かな力へと変えながら、持続的成長と社会的価値の向上を目指しております。また、当社は国産米100％使用を経営の根幹に据えて堅持するとともに、「お米となかよし」をキーワードとして情報発信、ブランド価値および認知度の向上に努めております。

開発部門におきましては、既存ブランドの活性化を図るとともに、新たな需要創出に向けた商品開発に取り組みました。既存ブランドでは、主力の「ふわっと」において新たにザクザク食感を提案する商品を投入するとともに、「黒豆割りせん」シリーズの品揃えの拡充に取り組みました。また、新たな需要開拓を狙い素材本来の味わいやお米の風味を訴求した「おだしとお米の風味香る塩せんべい」を発売するなど、多様化する消費者ニーズに対応した商品の開発を進めてまいりました。

製造部門では、昨年度に高値で調達した原料米の使用が期初から本格化したことに加え、包装資材価格や人件費、物流費が高値となり、製造原価の上昇を余儀なくされました。このような状況に対応するため、幾らかでも安価な原材料の調達に奔走するとともに、設備投資による省人化・合理化を図り主力商品への集中による生産の効率化を進めております。今後も、引き続き生産性向上と収益改善に向けた施策を推進してまいります。

営業部門では、主力商品（ＴＯＰ６＋２）の販売強化に継続して取り組んだ結果、「黒豆せんべい」「味しらべ」「田舎のおかき」などが前年を上回って推移しました。なかでも「味しらべ」は、前期より実施しているＴＶＣＭ等のブランド価値向上施策の効果が続いたことに加え、期間限定商品の投入によるシリーズの活性化を図った結果、好調を維持して推移しました。こうした販売施策と並行して、当社商品の優位性や価格改定の必要性について、取引先様の理解を得られるよう地道な営業活動を継続して行っております。

この結果、当中間連結会計期間における業績は、価格改定を含め主力商品に集中して販売強化に努めたものの、原料米をはじめとする原材料価格の高騰により製造原価が上昇、増収減益となり赤字幅の拡大を余儀なくされました。すなわち、売上高は、主力商品を主体とした販売強化および価格改定による商品価格の適正化に努めた結果、夏場の減退期にかかわらず148億89百万円（前年同期間比9.6％増）と増収となりました。損益面では、増収に努めたほか、商品構成の見直しや合理化設備の本格稼働による生産性向上、各種コスト削減に継続して取り組んだものの、原料米をはじめとする原材料費の増加が重く、製造コストの上昇を克服できないまま、営業損失は２億63百万円（前年同期間は営業利益１億56百万円）となりました。経常利益は受取配当金が加わり11億12百万円（同47.4％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は７億70百万円（同48.6％減）となりました。

なお、経常利益に関しては、当社が株式を保有するWANT WANT CHINA HOLDINGS LIMITED. からの株式配当金12億81百万円（前年は17億89百万円）を営業外収益の受取配当金に計上しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は696億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して233億90百万円の減少となりました。

流動資産は116億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して６億92百万円の減少となりました。これは主に、商品及び製品が１億75百万円、原材料及び貯蔵品が９億53百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が12億33百万円、受取手形及び売掛金が６億66百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は580億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して226億97百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により225億５百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は156億円となり、前連結会計年度末と比較して76億２百万円の減少となりました。

流動負債は41億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して５億43百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が１億76百万円、未払法人税等が２億79百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は114億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して70億59百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い繰延税金負債が70億60百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は540億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して157億87百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が４億40百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が154億66百万円減少、自己株式が取得により７億52百万円増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は16億95百万円（前年同期間比57.8％減）となり、前連結会計年度末と比較して８億33百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は４億37百万円の収入（前年同期間比22億97百万円の収入減少）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益11億７百万円、減価償却費８億75百万円、法人税等の支払額６億12百万円を計上したこと及び売上債権の減少額６億66百万円、棚卸資産の増加額11億68百万円の影響等によるものであり、収入減少要因は、前年同期間と比較して税金等調整前中間純利益が９億95百万円減少したこと及び売上債権の減少額６億51百万円、棚卸資産の増加額７億54百万円の影響等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は１億63百万円の支出（前年同期間比16億48百万円の支出減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出５億72百万円を計上した一方で定期預金の払戻による収入４億円を計上したこと等によるものであり、支出減少要因は、前年同期間と比較して定期預金の払戻による収入４億円の影響及び有形固定資産の取得による支出が８億28百万円減少したことに加え、前中間連結会計期間に計上しておりました定期預金の預入による支出４億円の影響等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は11億６百万円の支出（前年同期間比１億43百万円の支出増加）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出７億65百万円、配当金の支払額３億29百万円を計上したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,932,440 | 1,699,166 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,974,210 | 5,307,790 |
| 商品及び製品 | 1,050,398 | 1,225,408 |
| 仕掛品 | 177,744 | 217,729 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,853,977 | 2,807,769 |
| その他 | 328,348 | 366,509 |
| 貸倒引当金 | △611 | △436 |
| 流動資産合計 | 12,316,508 | 11,623,938 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,157,077 | 8,004,260 |
| その他（純額） | 7,656,983 | 7,659,883 |
| 有形固定資産合計 | 15,814,061 | 15,664,144 |
| 無形固定資産 | 76,635 | 66,313 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 64,547,506 | 42,041,688 |
| その他 | 372,094 | 340,233 |
| 貸倒引当金 | △71,077 | △70,770 |
| 投資その他の資産合計 | 64,848,522 | 42,311,151 |
| 固定資産合計 | 80,739,219 | 58,041,609 |
| 資産合計 | 93,055,727 | 69,665,548 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,388,355 | 1,212,120 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 4,400 | － |
| 未払法人税等 | 455,750 | 176,313 |
| 賞与引当金 | 581,471 | 579,131 |
| その他 | 2,296,194 | 2,214,854 |
| 流動負債合計 | 4,726,171 | 4,182,420 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,126,270 | 1,156,488 |
| 繰延税金負債 | 16,890,459 | 9,829,660 |
| 役員株式給付引当金 | 65,099 | 51,734 |
| 役員退職慰労引当金 | 3,500 | 4,350 |
| その他 | 392,091 | 376,153 |
| 固定負債合計 | 18,477,420 | 11,418,386 |
| 負債合計 | 23,203,592 | 15,600,807 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,634,750 | 1,634,750 |
| 資本剰余金 | 1,859,250 | 1,859,250 |
| 利益剰余金 | 27,750,030 | 28,190,538 |
| 自己株式 | △3,569,973 | △4,322,269 |
| 株主資本合計 | 27,674,056 | 27,362,268 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,019,183 | 26,552,638 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 158,894 | 149,833 |
| その他の包括利益累計額合計 | 42,178,078 | 26,702,472 |
| 純資産合計 | 69,852,135 | 54,064,740 |
| 負債純資産合計 | 93,055,727 | 69,665,548 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 13,582,558 | 14,889,891 |
| 売上原価 | 10,370,226 | 11,843,846 |
| 売上総利益 | 3,212,331 | 3,046,045 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,056,058 | 3,309,771 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 156,272 | △263,725 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,158 | 2,103 |
| 受取配当金 | 1,824,798 | 1,323,630 |
| その他 | 140,094 | 57,944 |
| 営業外収益合計 | 1,967,051 | 1,383,677 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,156 | 2,797 |
| 休止固定資産費用 | 4,963 | 4,050 |
| その他 | 154 | 514 |
| 営業外費用合計 | 7,275 | 7,361 |
| 経常利益 | 2,116,048 | 1,112,590 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 579 | － |
| 特別利益合計 | 579 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5,933 | 4,455 |
| 固定資産売却損 | 5,715 | － |
| 投資有価証券評価損 | 1,900 | 371 |
| 特別損失合計 | 13,549 | 4,826 |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,103,078 | 1,107,763 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 639,057 | 336,386 |
| 法人税等調整額 | △34,598 | 1,286 |
| 法人税等合計 | 604,458 | 337,672 |
| 中間純利益 | 1,498,620 | 770,091 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,498,620 | 770,091 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 1,498,620 | 770,091 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,192,421 | △15,466,544 |
| 退職給付に係る調整額 | △4,701 | △9,060 |
| その他の包括利益合計 | 3,187,719 | △15,475,605 |
| 中間包括利益 | 4,686,339 | △14,705,514 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 4,686,339 | △14,705,514 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | － | － |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,103,078 | 1,107,763 |
| 減価償却費 | 823,225 | 875,467 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △323 | △482 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 18,902 | △2,339 |
| 役員株式給付引当金の増減額（△は減少） | － | △13,365 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 600 | 850 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 31,094 | 30,217 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,826,956 | △1,325,733 |
| 支払利息 | 2,156 | 2,797 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △106,896 | △13,877 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,317,712 | 666,419 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △413,851 | △1,168,787 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △247,552 | △176,234 |
| その他 | △388,801 | △257,802 |
| 小計 | 1,312,388 | △275,107 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,826,867 | 1,327,125 |
| 利息の支払額 | △2,116 | △2,799 |
| 法人税等の支払額 | △402,202 | △612,196 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,734,937 | 437,022 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △400,000 | － |
| 定期預金の払戻による収入 | － | 400,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,401,012 | △572,464 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 850 | － |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5,220 | △8,350 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,908 | △609 |
| その他 | 3,751 | 17,627 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,812,538 | △163,796 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △200,400 | △4,400 |
| 配当金の支払額 | △313,049 | △329,189 |
| 自己株式の取得による支出 | △431,609 | △765,000 |
| その他 | △18,012 | △7,908 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △963,071 | △1,106,497 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | △2 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △40,673 | △833,273 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,059,479 | 2,528,437 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 4,018,806 | 1,695,163 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。